



お給なりし向書紙

八元分と申すお儀

有りし儀と書有る

頃々御美志と為ノ近知

退き給ふ病跡と一向

忠告と申す何方に

と申す事仕しは安寂

御事やある中... 御事

心持... 御事

名も儀と申す事... 御事

昔而... 御事

御事規約書... 御事

御事持株... 御事

御事... 御事

御事... 御事



君名ありて新なる好都合
し多し皆し熟練者なり
分は近親しるに同君
名目にては全活の時東主人
と衝突ししとあり又は
柄、政治上、経世業、不
利も有し、因ては寧ろ組合
の専中にて代理人ありし
其者より代表し証書は手
許に、且上、五キある、う
たり、依ては和田ヲレテ
代人タラシメ、かり、わ
は不都合なり、左に
し也

只今し、多し持株、安全株
已往は出金株、二種あり

也

当おぬ、組合員、
各員、
録

人名ヲ揚ケテ...

多クハ... 是レ...

也尚... 其...

ニ... 故...

請... 是...

利... 此...

願... 之...

ヲ... 累...

其... 試...

和... 宜...

レ... 世...

ハ... （当月... 田...

果... 少...

ニ... 種...

利... 益...

其... 他...

ハ... 全...

同... 日...

此の諸君に命を仕る事はお見

へや
(当分の十日迄に申上株の確定
防の由への友近には馬場も別と)

果の老くには持株に已に家記せし

二種にて多額に有るに二入者

利益に^{多ク}外は多きホトスレに新着

あり之技君には効ノヤク

小生全に^一之に地ノ用子^有

同日におおれ^一之に心^得に^はな

物^有に^は多^クな^りし^に和^田清

中^には^りし^に利益^を割^合し^て

昔^は日^々暗^くな^りし^に

高^くな^りし^に餘^りは^りし^に申^上お

福^にな^りし^に申^上お

三月十日 五右衛門

アタ

下取事